

審 議 結 果

会 議 名	令和5年度 第3回川口市学校給食運営審議会
開 催 日 時	令和5年12月6日(水) / 午前10時~午前11時10分
開 催 場 所	川口市立青木会館
出 席 者 (会長に◎、副会長に○)	◎井上会長、○浅沼副会長、神山委員、伊藤委員、石神委員、 佐々木委員、新井恵委員、新井俊之委員、蓑輪委員、箕輪委員、 笠井委員 中川部長、狩野課長、横田課長補佐、藤倉係長、大和課長補佐 江森指導主事、吉田主事、山田主事
議 題	1 学校給食費の改定について 2 その他
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	1人
会 議 資 料	令和5年度 第3回川口市学校給食運営審議会資料
審 議 経 過	別紙のとおり

令和5年度 第3回 川口市学校給食運営審議会会議録

1 日 時 令和5年12月6日(水) 午前10時 ～ 午前11時10分

2 会 場 川口市立青木会館 3階 B会議室

3 出席者

川口市学校給食運営審議会委員 11名(定数14名、うち3名欠席)

井上 千春(川口市立辻小学校長)

浅沼 良成(学校法人文化学園川口文化幼稚園理事長)

神山 浩(一般社団法人川口市医師会理事)

伊藤 公介(一般社団法人川口歯科医師会理事)

石神 敬(川口市保健所食品衛生課長)

佐々木 小百合(川口市立神根東小学校長)

新井 恵(川口市立青木北小学校長)

新井 俊之(川口市PTA連合会副会長・川口市立十二月田中学校PTA会長)

蓑輪 隼人(川口市PTA連合会副会長・川口市立神根東小学校PTA会長)

箕輪 幸枝(川口市PTA連合会副会長・川口市立辻小学校PTA副会長)

笠井 裕江(公募)

教育委員会事務局 8名

中川学校教育部長、狩野学校保健課長、横田管理係長、藤倉給食第1係長、
大和給食第2係長、江森指導主事、吉田主事、山田主事

4 議事概要

(1) 開会

(2) 挨拶(部長、会長)

(3) 議事

事務局より川口市学校給食運営審議会条例第8条第2項に基づき、会議が成立している旨の報告後、以下の審議がなされた。

議題1 学校給食費の改定について

事務局が説明

【質疑応答概要】

- 会 長：国産・外国産食材について、意見はあるか。
- 委 員：来年度に向けて、気候変動、海水温のことで、漁獲量が減ると言われている。その点を考慮すべきではないか。
また、三陸の水の廃棄で、中国・ロシアが海産物の輸入を禁止しており、それも価格に影響してくると思う。その点も考慮すると良い。
- 事務局：気候変動については、300kmから400km移動していると言われている。北海道がフグの産地になっているとの報道もある。また、処理水の影響も公表されたデータを注視し、取り組んでいく。福島産の食材については、東日本大震災直後には一時的に使用していない時期もあった。しかし、放射能の数値については複数回に渡って調査していることから、安全性の確保ができているものとして、使用している。
- 委 員：福島産のものに関しては、2023年現在の話としては、むしろ安全なものだと思うので、逆に輸入を控えている国により価格変動が起こり、産地も困っていると思う。産地を助ける、という意味でこの質問をした。
- 委 員：保護者からの外国産の輸入先についての質問はあるのか。健康面、衛生面、政治面等の観点からの問い合わせはあるのか。
- 事務局：給食の食材は産地を公表している。それに対する市民からの問い合わせは特にない。
- 会 長：いろいろな状況下で、食材の選定が難しいと思うが、安全面を考慮し、引き続き選択してもらいたい。

- 会 長：「学校給食費の答申について」修正した方が良いところ、盛り込んだ方が良いことはあるか。
- 委 員：答申は、審議会の今までの意見をまとめ、かつ保護者の段階的負担増の件についても考えられた内容となっており、ありがたい。
- 会 長：「別添資料について」はいかがか。
- 委 員：特になし。
- 会 長：答申については、原案どおり承認し、当審議会の意見として教育委員会へ答申することといたします。

議題2 その他について

- ① 12月市議会で提出している補正予算の議案について
- ② 学校給食センターの建設について
- ③ 給食試食会について

事務局が説明

【質疑応答概要】

- 委員：試食会は、保護者の希望者を集め行うのか。規模はどのくらいなのか。
- 委員：コロナの心配が続いているので、本校（●●小学校）ではまだ行っていない。
今年度もコロナは収まってきたが、インフルエンザでの学級閉鎖もあったことで、状況を見ながら、給食のみでなく、学校行事等も行っている。運動会も昨年は2名のみの見学、今年は屋外ということもあり、家族であれば見学OK、しかし音楽会は室内なので2名まで、としている。給食についても、まだ前を向いて食べている。一人一人の机のガードはしていないが、前を向いたまま、友達と会話しながら食べている。調理実習も昨年の2学期以降に始めた。まだまだ様子を見ながら少しずつ始めている状況である。給食試食会も、保護者の方から話は出ているが、保護者の意見の中にはまだ消極的な意見もあり、今も実施していない状況である。コロナ以前の例だと、試食会は、6年生が修学旅行に行っている間に、6年生の使用している分の食器を使い、実施していた。試食会について案内し、希望制で行っていた。入学したばかりの1年生の保護者を優先的に選び、実施していた。
- 委員：試食会に参加する保護者は、入口である1年生の保護者、また出口である6年生の保護者、と限定して行ったこともある。学校によっては、子どもと一緒に食べる、という形で試食会を実施したこともある。
- 委員：自分から見て、給食が少し寂しい、と感じる。試食会を重ね、保護者の方にも給食を知ってもらうことで、給食費の値上げに対する理解も得やすいのではないかと。食材や栄養バランスを考えたときに、もう少し充実を図れると良いな、と感じた。できる範囲で実施していけると良いと思う。
- 会長：保護者は献立表でしか子どもたちが食べているものを知るすべがないので、試食会で実際に見て食べてもらうのは良い方法だと思う。保護者の視点からはどうか。
- 委員：●●小学校はセンター給食なので、試食会の際はセンターから栄養士に来てもらい、実施している。PTAとしては、こちらからやりたい旨を伝えることはできないので、学校に言ってもらえれば行う。今年度も10月に実施したが、とても好評だったので、来年度も行うと思う。全校550名中120名ほどが参加した。栄養士の説明により給食に対する理解が深まる。
- 委員：●●小では、保護者に対して実施してはいないが、学校運営協議会の委員たちに会議

の際に試食してもらうことを実施している。会議を設定する日の曜日をかえることでご飯や麺を食べてもらった。ご飯の日は和食で好評だったが、麺の日はクリームスパゲッティとサラダと牛乳だったので、「子どもたちはこれでは足りないのではないか。」と心配の声が上がっていた。和食はバランスが良いので、そういった声はなかった。

試食会をすることで、客観的に見てもらういい機会になると痛感している。今後、やるかどうかと考えた時、PTA中心に実施してもらえるのであれば、協力しながら実施していけると思う。しかし、働き方改革が言われ、行事を削っている中、以前のように給食試食会を戻し、実施していくのは難しい。実施の仕方を工夫したり、学校運営協議会の中で積極的に実施する等の案などを提示しながら行っていく必要があると思う。昔のようなやり方を実施した方が良いのは分かっているが、時代を考えると、昔のようには難しいと思う。

○委員：コロナ後に子どもが入学したこともあり、コロナ前の学校の様子がわからない。試食会についてもよくわからないのだが、先生たちも忙しい中で増やすことは反対する声もあると思う。しかし、個人的にはやりたいと思った。保護者の理解ももちろんだが、自分がPTA活動したいと思ったのは、子どもたちが喜んでくれると良いと思ったのが始まりなので、子どもと保護者が一緒に食べる活動は良いな、とも思い、前向きに実施する方向でいきたい、と思った。ただ、学校ではまだグループで食べていない現状もあるので、今すぐに、ということではなく、様子を見ながらゆくゆくは実施できたら、と思う。

○委員：子どもが低学年の時、子どもと一緒にグループになり食べ、とても楽しかった記憶がある。実施できればとてもいい取り組みだと思う。親としては是非そのような機会には参加したい。

○委員：働き方改革は働いている人たちにとって、非常に大切なことだと思うので、残っている行事とハイブリッドな形で実施できれば、先生方の時間をたくさん必要とせずできるのではないかと、思う。

○委員：幼稚園の給食は設備上の理由から給食センターに近い形で実施し、保育園は川口市の公設民営ということもあり、公立の保育園と同じように給食を実施している。両園とも試食会を実施している。家庭単位で多様化していることもあるが、試食会で何を家庭に伝えたいのか、時代が変わっても共通していると思う。見せ方、思いの伝え方は時代によって変わっていくし、新しい活用の仕方があると思う。母親目線で、どのくらいの量を食べるのか、アレルギーの対応、保育士はどのように対応しているのか、という視点で参加している保護者が多い。

各学校の校長先生の判断で進めるところもあると思うが、統一した資料、映像等、現場の

先生方の負担を減らしつつ、かつ家庭に届けられるようなアイテムを市から変更、作成できるのであれば、試食会で伝えなければならないことをカバーしていくことができると思う。次のフェーズに入ってきていると思う。

○委員：学校からすると、何を求められているかを考える。親子での楽しい食事、市の給食についての紹介等が狙いとなる。学校の働き方改革から言っても、人員も考えなければならない。規模の小さい学校で実施する場合、誰が行うのか、ということになる。また、食器の数の問題、場の提供の問題、様々あり、条件は各学校で異なる。

市で共通のものを作成していただき、紹介させていただくのも良い方法だと思った。

○委員：学校により規模や実情が異なるので、学校ごと可能な範囲で考えてもらえばよいと思う。無理に先生方の負担を増やそうとは思わない。

○委員：アレルギー代替食の作り方を第1回目の本審議会で具体的に見せていただき、当クリニックに来る保護者と管理指導表を作成するために話すときも、代替食の作られ方について説明することができるようになった。映像等を保護者に見せ、学校給食について理解を促すことも良いと思う。

○会長：学校の規模や自校かセンターか、といろいろあると思うので、校長が様々工夫しながら考えていけたら良いと思う。

(4) 閉会

〈以下余白〉